

事業所名

スマートキッズジュニア三郷

支援プログラム

作成日

2025年

2月

25日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に課題に取り組みめるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 ・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 ・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		14時0分	19時0分	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	利用者を中心とした自身で取り組むトイトレーニングの課題 就労のための作業練習の組み立てや仕分け等の課題 就労・自立に向けてのPC文字入力や音声入力の練習課題		就労のための作業練習(道具の仕分け、部品の組み立て、パンフレットの作成、タオル畳み) 危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 自立した生活を送るための買い物学習		
	運動・感覚	活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題		指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) 指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等)		
	認知・行動	数字の理解や計算の習得に関わる課題 知覚や認知に関わる色や図形を用いた課題(マッチング等) 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 空間把握の認知形成に関わる活動(パズル、ブロック遊び等) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱、山手線ゲーム等)		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 コミュニケーションとしてのPCでの文字入力や音声入力の練習課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等)		
	人間関係・社会性	生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 就労に関わるコミュニケーション(面接・就業時のコミュニケーション)課題の練習 集団への参加や集団での指示理解のための課題		自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等) 注意・集中を目的とした活動(30秒チャレンジ、落とさず進めるかな等) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)		
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 家族の就労等の預かりニーズに対応するために、当事業所を利用することで、課題に取り組む、家庭でも同様に対応が出来るように繰り返し支援をしていく。		移行支援		当事業所で作成の個別支援計画を他機関と共有し、課題として取り組んでいることを日常で実践できるように支え取り組むことで、利用者に対する支援の統一を図る。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。
地域支援・地域連携		各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 担当の相談支援専門員と定期的に情報交換を行い、相談支援専門員を通して他事業所や学校等との連携を進める。		職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(昼食購入、障害福祉サービス事業所への見学)、調理活動(かき氷作り、クッキー作り)、保護者会				